



さが多胎ネット通信 ～子育て体験談版～

令和6年11月

多胎児のママたちがそれぞれの出産・子育て体験談を綴っています。

今回は双子の先輩ママ、Kさんです

9歳の双子、11歳の息子、3兄弟の母です。双子が赤ちゃんだった頃の記憶は随分と薄れてしまいましたが、睡眠時間が短くて大変だったなという記憶があります。夜中は双子のひとりが泣いて授乳して寝落ちしたと思って自分も寝ようとしたら、今度はもうひとりが泣き出して。それを繰り返して、とうとう朝になって一睡もできず、日中も眠くて、ぼんやりして。日中も双子が同時に泣いて、あたふたして、抱っこして、授乳していたら、家事が全然進まず、焦って。そうやって時間だけが経ってしまい、夕暮れになり途方に暮れて。絶望的な気持ちになったのは今も思い出せます。双子じゃなかったら、ひとりひとりにもっとたくさん愛情を注いだのではないかな。ごめんね、二人泣いていると、一人にはすぐに対応できなくてごめんね。双子に対して申し訳なさ、ふがいない自分を責めていました。

そんななか、グリンピースで双子のお母さんたちや双子のお子さんたちに触れ合える機会があったのは、ありがたかったです。悩みを共有できたのがありがたかったです。そして、双子育児の経験者の方とお話できるのがとても心強かったです。「3歳まで踏ん張れ！」と中村さんが言うてくれて、3歳までがんばったら楽になるのかなと思って日々過ごしていました。そして、双子の3歳の誕生日、中村さんの言った通り、少し楽になったと思ったことを覚えています。それからどんどん楽になりました。

今は9歳。長男がいたからか、双子はお兄ちゃんの真似して割と早く自分でいろんなことができるようになり、双子だから大変！ということも減りました。二人で遊ぶことが多く、手もかからなくなってきました。ちょっと寂しいですが。今は双子って面白いなと思います。同じ環境で育っていても、性格は違うし。一卵性か二卵性かはわからないのですが、顔も似ているし、体格も似ているので、家族以外の人には間違えられることも多い双子。でも家族から違いがあるのにと。双子それぞれの良さもあって、それも面白い。

おそろいの服を着せるのも可愛いです。双子ならではの可愛さがあります。でも最近は服の好みがあって、おそろいの服を着てくれないときもでてきました。

双子を生まなかったら、こういう面白い体験はできなかったから、貴重な体験だなと思うのです。

昔、夕暮れに途方に暮れていた私には将来のことは見えませんでした。目の前のことを何とかこなして、今日も双子を無事に死なせずになんとか過ごせたことにほっとしながら日々過ごしていました。

こんなふうに双子が大きくなっていく姿を見て、その成長が楽しいし面白いのです。これからも双子が大きくなるのが楽しみです。

長男と双子の関係も、変わりました。赤ちゃんの頃は双子の先生のようにいろいろ双子に教えていた長男。双子が赤ちゃんの時には長男がいろいろと手伝ってくれて、とっても助かりました。私が双子の一人に対応している時に、もう一人の相手をしてくれたり、二人と遊んでくれたり。

昔の双子の写真をみるととってもかわいいので、もっと記憶にとどめておきたかったな、もっと写真やビデオをとっておけば良かったと悔やまれます。あの頃は余裕がなくて、そういうことまで考えられなかった・・・。

最近は生意気になってきた双子と長男は喧嘩ばかりで困ったものです。これからまた成長すると変わるのかなと期待しています。子どもたちの成長がこれからも楽しみです。双子ならではのということもあると思うので、それも楽しみです。私の人生で双子の子育てができて良かったなと思うのです。長男と双子、そして夫とこれからもいろいろあるでしょうが楽しく過ごしていきたいなと思います。

- ◆問い合わせ さが多胎ネット
- ◆代表 中村 由美子
- ◆所在地 佐賀市本庄町大字 1313 番地 佐賀女子短期大学内
- ◆携帯 090-8626-2535
- ◆メール agatatainet@gmail.com
- ◆ホームページ <https://sagatai.net>